「平成 21 年度普及に移す成果」

茨城県農業総合センター山間地帯特産指導所

リンゴ中生品種「シナノゴールド」は食味と日持ち性に優れる

【品種の特徴】

リンゴ「シナノゴールド」

①品種来歴：「ゴールデンデリシャス」×「千秋」の交配種

②品種登録：平成 11 年（育成者；長野県果樹試）

③品種の生態：

・満開期は 5 月 1 日前後。

・収穫盛期は 10 月 10 日頃、満開後日数は 160 日前後。

④果実の特徴：

・果実重は 300g 程度、揃いは良好です。

・外観は明るい黄色、糖度は 15 度前後と高く、果肉の硬さは 15 ポンドあり、歯ごたえが良好です。

・収穫始めはやや酸味を感じるさわやかな味、完熟すると糖酸比は 39 程度で、甘酸のバランスの良い濃厚な食味となります。

⑤日持ち性：

・果肉は粉質化しにくく、収穫後は室温で３０日間程度日持ちします。

・10 月末まで収穫可能で、樹上での軟化もしにくい品種です。

表「シナノゴールド」栽培調査結果（平成 18～20 年、対照「王林」）

品種名	樹齢	満開期	収穫盛期	果実重 g	硬度 lb	糖度 %	酸度 %	果皮色指数	日持ち日数
ｼﾅﾉｺﾞｰﾙﾄﾞ	6年	5月1日	10月10日	304	15.0	14.9	0.39	6.7	30日
王林	30年	4月26日	11月5日	349	14.1	14.5	0.28	5.1	20日

※わい化栽培

【収穫開始の目安】

・収穫始めは酸味が強い傾向があります。9 月下旬頃より、やや地色が抜け黄色みがかってきた果実から試し取りをするなどして、甘みと酸味のバランスに注意して収穫を始めます。

・試験栽培において、収穫盛期の「シナノゴールド」の果皮色指数は、右図の果実カラーチャート「王林」用で、６～７の範囲です。

・標高が高い地域での栽培では、収穫開始の遅れや、果実の酸味がやや強くなる傾向があるので注意します（当所の標高 110m）。

果実カラーチャート「王林」用

【栽培の留意点】

・10 月に収穫できる中生種として、県内リンゴ産地で栽培が出来ます。

・つるさび果が発生しやすいので、中心果を残すようにします。

・収穫前落果があるため、落果防止剤を使用します。

・「ふじ」「つがる」「王林」との交雑和合性は相互に高く、開花期は「ふじ」より 1 日程度遅れます。

＜問い合わせ先；山間地帯特産指導所　電話 0295（74）0821＞